

ウルフムーン狼月	スノームーン雪月	ワームムーン芋虫月	ピンクムーン	フラワームーン	ストロベリームーン	パクムーン男鹿月	チョウザメ月	ハーベストムーン	ハンターズムーン	ビーバームーン	コールドムーン
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
新月 3日 上げん 10日 満月 18日 下げん 25日	新月 1日 上げん 8日 満月 17日 下げん 24日	新月 3日 上げん 10日 満月 18日 下げん 25日	新月 1日 上げん 9日 満月 17日 下げん 23日	新月 1日 上げん 9日 満月 16日 下げん 23日 新月 30日	上げん 7日 満月 14日 下げん 21日 新月 29日	上げん 7日 満月 14日 下げん 20日 新月 29日	上げん 5日 満月 12日 下げん 19日 新月 27日	上げん 4日 満月 10日 下げん 18日 新月 26日	上げん 3日 満月 10日 下げん 18日 新月 25日	上げん 1日 満月 8日 下げん 16日 新月 24日 上げん 30日	満月 8日 下げん 16日 新月 23日 上げん 30日

ながれぼし

ながれぼしは、1年を通していつでも見ることが出来ます。月などの明るい光が目に入らないように工夫して観察しましょう。中でも流星群は、決まった時期に見られ、数が多いものもあるのでチャンスはかなり高くなりますよ!

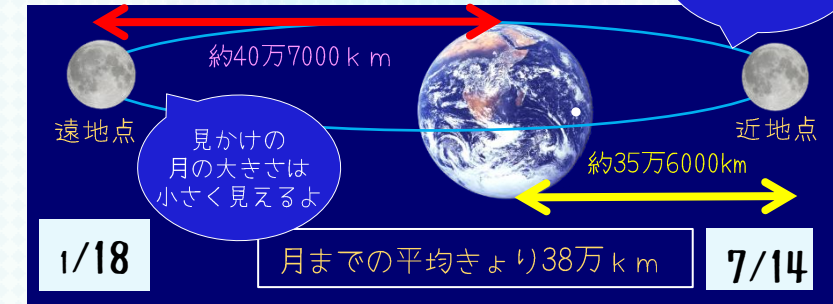
りゅうせいぐん	一番見られる日	1時間に見える数
4月こと座流星群	4月23日ごろ	5こくらい
みずがめ座イータ流星群	5月6日ごろ	数こ
みずがめ座デルタ流星群	7月28日ごろ	5こくらい
ペルセウス座流星群	8月13日ごろ	30こくらい
はくちょう座流星群	8月18日ごろ	5こくらい
10月りゅう座流星群	10月9日ごろ	1こくらい
オリオン座流星群	10月22日ごろ	10こくらい
おうし座南・北流星群	11月6日・13日	5こくらい
しし座流星群	11月18日ごろ	5こくらい
ふたご座流星群	12月14日ごろ	50こくらい
しぶんぎ座流星群	1月4日ごろ	10こくらい

お月見

9/10 中秋の名月(満月)
10/8 後の名月

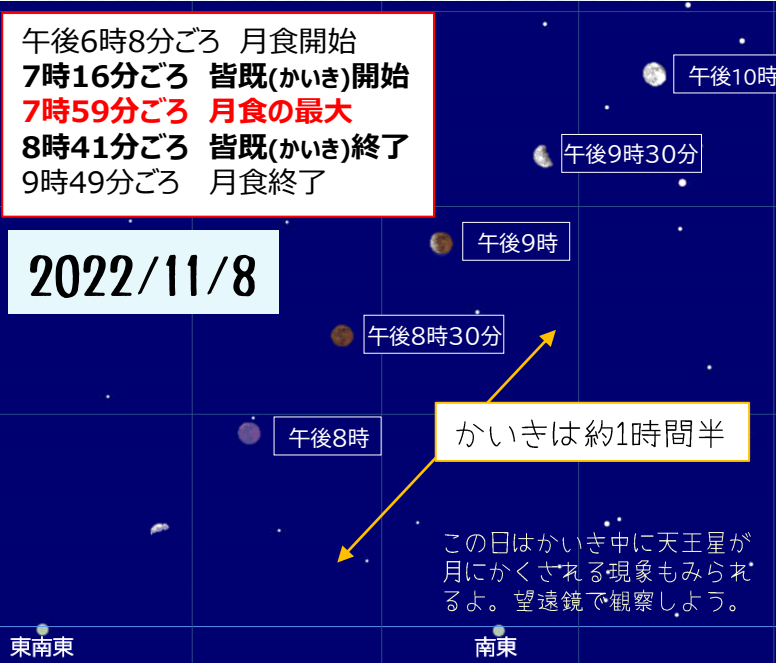
大きな満月・小さな満月

7月14日3時38分が大きな満月のしゅん間です。14日は明け方5時に月がしずみ、その日の夜8時すぎにまた月がのぼります。満月のしゅん間をふくむ日を「満月」とよぶ決まりになっていますが、まんなまる満月はこの日の場合13~14日にかけてのお月さます。



かいき月食

地球のカゲにすっとぼりと入るかいきが1時間半続きます。月の色や星空の様子、空の暗さなども観察してみよう。見やすい時間帯だけと寒さと安全には注意しよう!

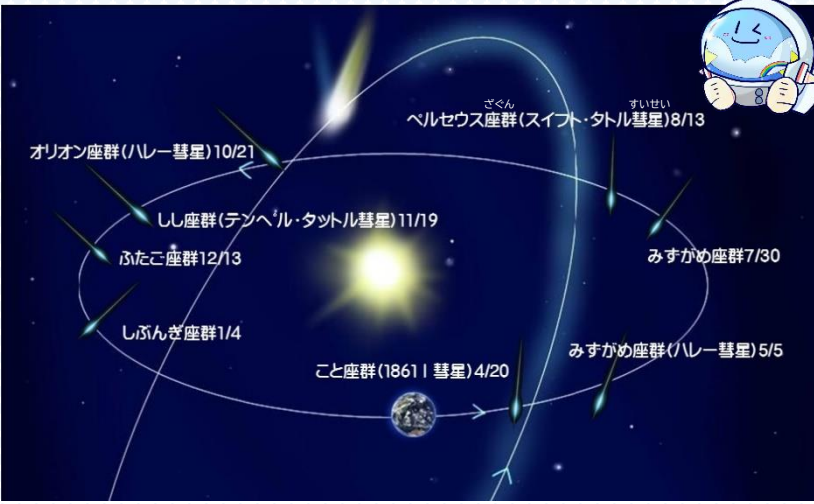


ふゆのほしぞらはとてもにぎやか。冬のダイヤモンドをみつけよう。星の動きを観察しよう。

寒いけれど星空はきらきらひびひび、とってもにぎやかです。それもそのはず...。一等星とよばれる明るい星が、冬の星座には7つもあるからなんですよ!南の低いところがみられる場所ならばもう一つ見られるので、なんと8つも! 一等星は春の星座では3つ、夏は4つ、秋は1つですから冬の星空が、はなやかなはずですね!星座をさがしてみたいという時は冬の星空から始めてみるのもよいと思います。冬のダイヤモンドを目印にまわりにある一等星を見つけていくとよいですよ。星座早見板があると便利です。まずはあたたかして、おとなの人といっしょに観察をしましょうね! ベテルギウス以外の一等星だけをつなぐと大きなダイヤモンドのようなならびに見えます。これを「冬のダイヤモンド」とよんでいます。ほかにも冬はみどころがたくさん。おうし座にある「プレアデス星団」をみつけてみましょう。オリオンの三ツ星を上方にのぼして一等星アルデバランを通りすぎたところにあります。ほんやりとした星が集まっています。これが「プレアデス星団」と和名を「すばる」といいます。目の良い人だと7つくらいの星を数えることができるそうですよ。

ワクワクポイント

- 冬の星空に一等星は7つ。南の低い空がみえるところなら8つ!
- 冬のダイヤモンドは正三角形!オリオン座には2つも一等星があるよ
- ベテルギウス以外の一等星をつなぐとダイヤモンドの形に!!
- 一時間で星は約15度いどうするよ。(にぎりこぶし1こ半分)



太陽けいの仲間には太陽を始めわく星、じゅんわく星、小わく星などのほかに彗星すいせいがあります。すい星は氷のようなものでできていて、わく星たちと同じように太陽のまわりを回っています。しかしその通り道は様々で中にはなかなか1周せずにもどってこないようなものや、太陽に近づきすぎてこわれてしまうもの、数年や数十年で安定して回っているものなどがあります。すい星が太陽の近くまでくるとそれまでこおっていた氷がとけて宇宙空間にちらばります。そしてまた冷えて小さなつぶになり、すい星が通った後にこのようなチリの道ができます。このチリが流星群のもとになります。すい星の通り道によっては、地球の通り道と重なっていることがありそのころは、すい星が残したチリが地球にぶつかることが多くなるので流れ星が増えます。中でも流れ星の数が多い流星群があります。それがペルセウス座流星群、ふたご座流星群、しぶんぎ座流星群で合わせて三大流星群といえます。初めての流れ星観察はこの3つの流星群から始めてみましょう!

どうしておねがいごとを3回いうのがな?

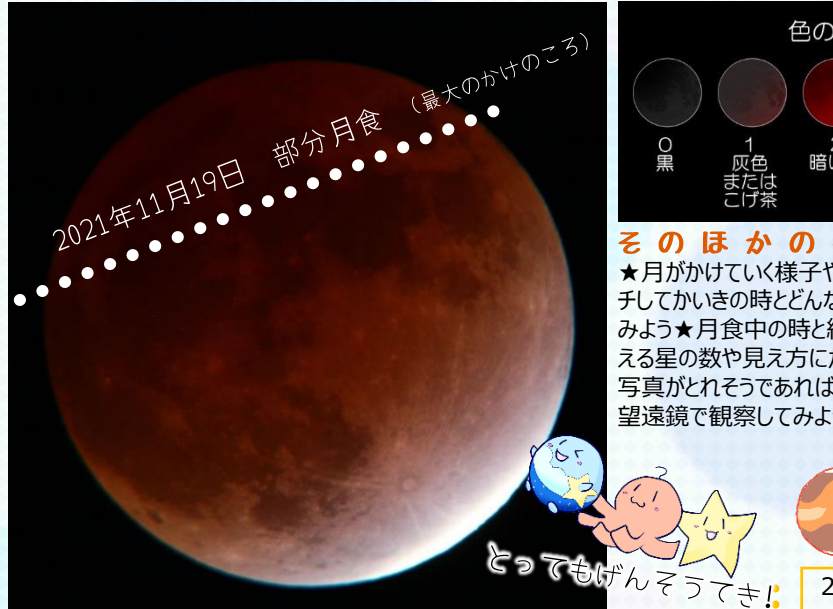
ながれぼしの正体をまだ知らないわかしわかし、天の世界の神様が地上の様子をみるために開けとびらから見た光がながれぼしだと人々は思っていたそうです。とびらが開いている時お願いをすれば神様の耳に入るだろうと人々は願いを口にしましたが、その願いがなかった人はいないのです。多くの人がわかしわかしお願いをするのだから神様は聞きもらしてしまうのが、そう思って3回言うことにしたのだそう。

速いながれぼしに3回。どうでしょう。言えるかな? 地域によっては身振り手振りでもお願い事を表現しているところもあるのだそうですよ!

かぎりなく「かいき」に近い部分月食がありました。

2021年11月19日はよく晴れて、月食の観察ができたというお友達も多いんじゃないかな!ただ、早い時間で月の高さが低かったので山や建物で見られなかったという人も多くいたようです。ほかにも「すっかりわすれてた!」というお話しも聞きました。観察できなかった人は今度こそは見られるとよいですね。2022年は月食がありますのでチャンスがありますよ!時間や方向、高さなど前もって確認しておくとお日あわてなくてすみます。ゆったりした気持ちで観察しましょう。なんと今度の月食は1時間半にもおよぶ皆既(かいき)月食ですよ!

月食は、宇宙空間にのびている地球のカゲの中に月が通ることおきます。月がかけていきますが、かけざわはほんやりとしています。また満月には変わりないためクレーターは見えません。光が地球の大気でくせつし赤色の光だけが月にとどくので月食中の月は赤銅(しゃどう)色に見えます。大気がきれいだと明るく、チリが多いと暗く見えます。月食の楽しみ方として、かいき中の月の色を観察してみよう。



金星

10月くらいまで「明け方の明星」として明け方の東の空で見えます。ただしあまり高いところになく、すぐに日の出をむかえるので目につかないかもしれません。天文台で望遠鏡を使って観察してみましょう。

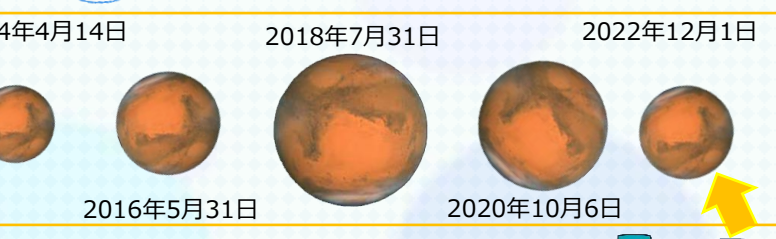
土星

秋の星座「やぎ座」のところで見えています。夜8時ごろに見やすい時期は8月の終わりごろから。2025年はわっかが消えたように見えます。今まさにわっかが、せぼまつてきていますよ!毎年観察しておこう。

木星

秋の星座「みずがめ座」から「うお座」で見えます。夜8時ごろに見やすい時期は9月の半ばくらいから。しましまもや木星のえい星を望遠鏡で観察しよう。えい星は毎日見え方がちがうよ。

火星せう近!



2年2か月ごとに地球と火星はきよりが近くなります。そのため火星の観察がしやすくなるのも2年ごとです。今回は2020年でした。それから2年経つ2022年12月に、火星は地球にもっと近くなります。今までのせう近よりもきよりがはなれたため見かけは小さくなります。それでもせう近している時に望遠鏡で観察すると火星の地表のようなどみることが出来ますよ!ちなみに地球に大せう近するのは2035年です。上の絵の2018年7月31日の火星と同じ見え方です。見た目がこんなにちがうのですね!

今よりもっと。楽しい!学べる!ホッとする!

新しい海星館にうまれかわるよ!!

令和4年度に入ってから、海星館は工事のためお休みします。令和5年度に新しくなって海星館がまた始まります。大きく新しくなる望遠鏡と大分では初めて、いつ来ても見られるプラネタリウムができるので楽しみにしてくださいね。それまではみんなの学校に望遠鏡など持って会いに行きます!お休みの予定など詳しいことはホームページに書いていきます。お家の人といっしょに見てね!

大分市生涯学習施設 関崎海星館

発行/関崎海星館
879-2201 大分市佐賀関4057-419
お問い合わせ・出張依頼/TEL097-574-0100

星は太陽観察 夜は天体観察